

安心して学べる桜山中へ



桜山中便り

学校教育目標
「個人の尊厳を重んじ、心豊かで、心身ともにたくましく、21世紀を生き抜く生徒の育成」

心のケアと感染防止 学校再開1週目の取組

学校再開後はまず、

学校生活のリズムづくり

長い臨時休業期間中、生徒の生活のリズムは、いかがだったでしょうか。休業期間が長かった分、スムーズに学校生活のリズムに適応することは、難しいかもしれません。また、生徒自身も臨時

業期間中の生活スタイルに大きなストレスを感じていたことと思います。学校が再開しても感染するリスクは、まだまだゼロではありません。感染防止にも細心の注意を払いながら、学校で

の生活をスタートする必要があります。そこで、市教委の方針を受け学校再開1週目は、次のように学校での取組をスタートし、徐々に学校生活のリズムづくりを進めていきます。

今後の部活動

県中学校総合体育大会(中体連大会)が中止となり、また、県吹奏楽コンクールも中止となりました。市中体連大会の開催が未確定で大変気になるところですが、3年生が次の夢・目標に向かってスタートできるような取組を進めていきます。

学力充実と進路選択

3年生にとって中学生生活最後の1年がスタートしました。3月の卒業まで9ヶ月と少いですが、残りの期間で何ができるか、1日1時間を大切にしたいと願っています。

将来の夢や目標を探しながら、今何のために学ぶのか、学ぶ目的・意義を考えることができれば、すごいことです。入試については、長期の臨時休業を受けて、どのように実施するか今後検討されます。今は、自分の進みたい道に進むため、授業で主体的・対話的な学びを進め、各教科の学力を向上させるとともに、面接でも適切に表現できるようにしていく必要があります。授業でわからなかった内容や疑問を積極的に先生に尋ねることも、今まで以上に行なって欲しいと思います。桜山塾(アフタースクール)もあります。進路選択に向け今まで以上の新たな一歩を!

授業時数確保のため 様々な取組を検討中

中学校学習指導要領によれば、各教科、道徳、特活、総合的な学習の時間の合計は、年間各学年1015時間を標準としています。1015時間を行っていく予定です。

○夏休み等長期休業期間の短縮(市教委より)
○土曜授業の拡充(月1回程度)
○7時間授業の日の設定等々

現在、例年どおりなら、特に3年生は卒業式が1・2年生の修了式より早く実施することもあり、授業可能時数(行事含む)が900時間もない状況です。学校行事等の厳選・カットについては、桜山中便り第1号でもお伝え

しました。授業時数を1時間でも多く確保するために、学校行事の厳選・カットの他、次のことを行っていく予定です。

今後の主な予定

- 7月4日(土) 授業参観・学年懇談会
- 7月 前期中間テスト
- 夏休み(市教委の決定を待ち期間等お知らせします。)
- 9月 全学年3者教育相談
- 9月 3年生共通テスト
- 9月12日(土) 桜山中スポーツフェス
- 10月上旬 桜山中合唱フェス
- 前期期末テスト
- 10月末 前期通知表

あとがき

桜山中便り第2号を第1号と同時に発行しました。これから台風シーズンや新型コロナウイルス感染症第2波も懸念されます。困難な状況が続きますが、生徒と先生方ともに力を合わせて乗り切っていきます。